

## 第8回 大阪城公園周辺地域都市再生緊急整備協議会会議 会議要旨

■日 時：令和7年3月25日（火） 午後1時から午後2時10分まで

■場 所：大阪市役所 P1F 共通会議室

■出席者：別添の「出席者一覧」のとおり

■次 第：1. 開会

2. 報告

3. 議題

・大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）について

4. 閉会

### ■要 旨

#### 1. 開会

事務局：泉 大阪市計画調整局開発調整部地域開発担当課長

- ・ 私は本日の司会を務めます、大阪市計画調整局の泉でございます。よろしくお願いいたします。なお、本日の会議でございますが、14時過ぎの定例会を目途といたします。
- ・ それでは、今回、メンバー変更がございましたので、改めて協議会会議の議長を選出したいと思います。規約第6条第1項では、会議の議長は会議の構成員の互選により選出するとあります。自薦他薦ございますでしょうか。

森岡 大阪府副知事

- ・ 地元市として、これまで大阪城公園周辺のまちづくりに携われてこられた大阪市の高橋副市長にお願いすることではいかがでございましょうか。

事務局：泉 大阪市計画調整局開発調整部地域開発担当課長

- ・ 他にご推薦ございませんでしょうか。では、大阪市にお願いしてはいかがでしょうかというご意見ございましたので、大阪市の高橋副市長にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

#### 会場

- ・ 異議なし

事務局：泉 大阪市計画調整局開発調整部地域開発担当課長

- ・ それでは、大阪市の高橋副市長に議長をお願いしたいと思います。まずは、高橋副市長から、開会の挨拶をいただきたいと存じます。

議長：高橋 大阪市副市長

- ・ 大阪城公園周辺地域都市再生緊急整備協議会会議の議長を指名されました大阪市副市長の高橋です。本協議会会議の開始にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。
- ・ 「大阪・関西万博」がいよいよ19日後に開幕を迎え、多くの来訪者の増加が見込まれます。この大阪・関西万博のインパクトを活かしまして、大阪がさらに成長・発展して

いくためには、国際競争力の強化に資するような、まちづくりを進めていく必要があると思っております。これまで大阪市では、大阪の成長発展に向けまして、先週末に開業されましたグラングリーン大阪があるうめきたから、(仮称) なんば広場の完成を迎えた、なんばに至る南北都市軸の強化をめざして参りました。

- ・ 今後は南北都市軸も加えまして、夢洲などのベイエリアから大阪城公園周辺地域に至る東西都市軸、この強化を図っていきたいと思っております。ヒガシの拠点となりますこの大阪城公園周辺地域では、森之宮周辺におきまして、本年秋の大阪公立大学森之宮キャンパスの開設に加えて、京橋駅周辺では、J R 片町線・東西線連続立体交差事業の再開などまちづくりに向けた動きも具体化して参ります。
- ・ こうした状況のもと、さらなる国際競争力強化の向上に向けて、京橋駅周辺、大阪ビジネスパーク駅周辺、森之宮周辺の各エリアがしっかり連携いたしまして、ビジネス環境の充実や、大阪城公園の回遊性向上といった観点から、3つのエリアを一体的にとらえたまちづくりを進めていきたいと思っております。
- ・ 本日は3つのエリアの共通の指針となります「大阪城公園周辺地域まちづくり方針(案)」につきまして、ご議論いただいた上で、本協議会会議での取りまとめを行いたいと考えております。同方針案がよりよいものとなるよう、皆様の忌憚ないご意見、どうぞよろしく願います。以上です。

**事務局：泉 大阪市計画調整局開発調整部開発計画課長**

- ・ ありがとうございます。それでは議事に移りたいと思います。議事の進行につきましては議長である高橋副市長、よろしくお願いします。

## 2. 報告

- ・ **大阪城公園周辺地域都市再生緊急整備協議会等の構成員の追加及び変更について**

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ それでは次第に沿って、進めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。まず報告事項の説明を事務局の方から願います。

**事務局：正垣 大阪市計画調整局開発調整部長**

- ・ 大阪市の計画調整局開発調整部長の正垣より報告事項として、協議会構成員の追加について報告いたします。まず資料1-1をご覧くださいませでしょうか。
- ・ 大阪城公園周辺地域は平成24年1月20日に、大阪ビジネスパーク駅周辺・天満橋駅周辺として、都市再生緊急整備地域に指定され、平成27年3月27日に協議会・協議会会議が設置されております。その後、平成29年8月2日に、大阪京橋駅周辺が拡大指定され、令和5年10月13日に京橋駅周辺地域部会が設置されております。また、令和2年9月16日に森之宮周辺が拡大してされております。それに伴いこの度、森之宮周辺として協議会の構成員に追加がございました。
- ・ 森之宮周辺として、地方独立行政法人の長、及び、所有者の立場である公立大学法人大

阪 理事長。また、独立行政法人の長、及び、所有者の立場である独立行政法人都市再生機構 理事長が追加されております。

- ・ さらに、大阪ビジネスパーク駅周辺に新たな構成員として、建築物の所有者の立場である関電不動産投資顧問株式会社 代表取締役社長。以上の 3 名の方が新たに構成に追加されました。また、それに伴い、協議会会議にも追加されましたことを報告いたします。なお、専門家である、学識経験者は、部会等への参画をいただいているところがございます。また、人事異動等により、協議会・協議会会議の構成員が変わっているところもございますが、時間の関係上、お配りしております出席者一覧、配席図で代えさせていただきます。
- ・ 本日の会議には WEB 形式での参加代理出席の方を含め、構成員 26 名中 22 名の方が出席されておりますので、協議会規約第 8 条第 2 項の規約に基づき、有効に開催されていることをご報告いたします。以上です。

### 3. 議題

- ・ 大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）について

#### 事務局

- ・ 資料説明  
資料 2－1 大阪城公園周辺地域における 3 エリアのまちづくり方針策定の経緯  
資料 2－2 大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）  
資料 2－4 今後の進め方

#### 議長：高橋 大阪市副市長

- ・ ただいまご説明ありました議題につきまして、ご意見賜りたいと思いますが、公立大学法人大阪より、国際的なイノベーションプラットフォームについて具体的な取り組み予定があると聞いておりますので、まずは、公立大学法人大阪の柴山様、お願いいたします。

#### 柴山 公立大学法人大阪 本部事務機構企画総括部長

- ・ 資料説明  
資料 2－3 大阪城公園周辺地域イノベーションプラットフォームの設置

#### 議長：高橋 大阪市副市長

- ・ ただいまご提案いただきました大阪城公園周辺地域イノベーションプラットフォームですが、ご説明にありましたように、大阪ビジネスパーク協議会、NTT 西日本、大阪府、公立大学法人大阪、まずは、このメンバーで設置していく方向で、よろしいでしょうか。

#### 会場

- ・ 異議なし

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ それでは、その方向で進めさせていただきます。以降メンバーを増やしていきたいと思いますので、皆さまどうぞご検討よろしく願いいたします。
- ・ それでは続きまして、全体の内容につきまして、席順でご意見頂戴したいと思います。

**春名 西日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長兼執行役員 地域まちづくり本部長**

- ・ 冒頭事務局からご説明のあった大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）や、公立大学法人大阪の取組を伺い、大阪城公園周辺エリアの動きは、活発になっており、日に日に期待感が高まっているというのを私自身、肌で感じております。
- ・ 京橋や大阪城東部地区だけではなく、大阪城公園周辺地域として、歩行者動線や、道路ネットワークを整備することは、まさに冒頭、高橋副市長からもお話ございました、東エリアのまちづくり大きく前進させるものになるというふうに考えております。今回ご提示のあった大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）に賛同をさせていただいて、当社としても実現に向けて取り組んでいきたいと考えております。
- ・ その上で、まず、京橋エリアでございますが、豊里矢田線や南北デッキ等の歩行者ネットワークとそれを結びつける駅前広場等、交通結節機能につきましては、京橋の回遊性の向上や交流促進にとって重要であります。それらの整備の観点でも、JR 片町線・東西線の連続立体交差事業は非常に重要だと考えております。また、JR 片町線・東西線の連続立体交差事業を踏まえた上で、有効な土地利用を促進するためにも区画整理等の手法は、有効な施策であり、市街地の一体化・大街区化について、関係者の皆様と議論して参りたいと考えております。
- ・ また、目標 2、3 を促進する意味で、集客・商業等の機能に合わせて来街者に限らず、定住人口の確保にも寄与するような良質な住環境の整備は、ブランド力を高めるという意味で有効ではないかと考えております。
- ・ 森之宮エリアでございますが、私どもにとって、歩行者動線・空間の充実に向けて、大阪府市と連携して、大阪城公園からの接続デッキの整備に着手したいと考えております。歩きたくなる居心地のよい空間とするためにも、水辺の歩行者空間が連続的なものになるよう配慮して、1.5 期のまちづくりを盛り上げるように進めていきたいと考えております。

**大浅田 京阪ホールディングス株式会社 執行役員**

- ・ 道本 取締役常務執行役員の代理で、出席させていただいております。
- ・ 京橋という地名は文字どおり、京都へ繋がる橋であり、まさに京都への出入り口であります。我々、京阪電車は京都へ通じる京街道沿いに走っており、まさに、国際文化観光都市の京都と大阪を結ぶ。さらに、その観光文化の中心地であります祇園・東山・伏見、こういったエリアと京橋を 40 数分でつなぐ唯一の路線であります。こういった京都、そして J R であれば、神戸にも直接繋がる京橋は、点ではなく、線で繋がる拠点として見ていく必要があると思っています。そういう意味で、もっと国際化が進むべきであると

我々は考えております。

- ・ 一方で、国土交通省では、鉄道沿線まちづくりというものを推進しております。まさに、人口減少化における、鉄道沿線のあり方についてです。こういった視点で見ますと、人口減少に目を向けないわけにはいかないと思っております。まちづくりや施設開発では、プロダクトアウトなのか、マーケットインなのかというような話がよくありますが、人口増加社会では、プロダクトアウト、つまりハコモノをつくれば何とでもなっていた時代が30年ぐらいはあったのですが、人口減少の局面におきましては、プロダクトアウトでは、間違いなく立ちいかなくなってきております。かといって、マーケットインでやってしまうと、縮小均衡にしかならない。そういったことで、今後、まちづくりを進めていくに当たりましては、マーケットをプロデュースするプロダクトアウト、これを進めていかなければならないと思います。コンテンツありきでは、もうまちづくりができない時代に間違いなくなっております。弊社も直面しており、沿線の他のまちづくりでもこの考え方で進めております。
- ・ 特に国際化につきましては、民間企業だけでは、やはりできるものではないと考えております。最初に申しあげました通り、国際文化観光都市である、祇園・東山・伏見、こういったところと直接繋がる大阪市内のまちとしては、唯一の都市が京橋であります。ここ京橋駅周辺エリアは、他のエリアとは違うポテンシャルを間違いなく持っておりますので、ここを強みに国際化を進めていく必要があると思っております。
- ・ さらに京都側のターミナルである三条でも、今、世界に向けて発信できる施設の整備を鋭意進めているところでございます。起点側の京橋につきましても、当然、国際的な拠点といたしまして、整備されていくことが望ましいと考えております。
- ・ さらに国際化を進めるに当たりましては、今回示された、大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）を実現していくためにも、行政が先頭に立って旗を振って、行政にしかできないこと、行政だからつくれるもの、こういったものを、強い推進力で形にしたいと考えています。これに連動する形で、我々民間企業が、民間だからこそできること、つくれるものを民間ならではのノウハウ、スピード感で進めていきたいと考えております。この役割分担で官民連携して、他のまちにない世界に発信できるまちとして、まちづくりを進めて参りたいと思っております。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 官民連携してしっかり進めていきたいと思っておりますし、今回のまちづくりとあわせて先ほど提案ありましたイノベーションプラットフォームというものを並行してつくっていき、新しいまちづくりを担っていくことを考えておりますので、京阪にも積極的な参画をよろしくお願いいたします。

**齋喜 大阪市高速電気軌道株式会社 取締役 都市開発事業本部長**

- ・ 今回からこの会議に参加をさせていただいております。ご説明の通り、現在、森之宮周辺と記載されております大阪城東部地区における森之宮 1.5 期開発を大阪公立大学と

一緒に着手しているという状況でございます。

- ・ 記載されている 4 つのエリアが、有機的に連携し、良化することについては大賛成でございます。また、特に東側の 8 の字のエリアについては、私どもの駅もたくさんございますので、ぜひ、推進をしていきたいというふうに思います。
- ・ 森之宮 1.5 期開発で設置をいたします新駅を含めまして、京橋駅、大阪ビジネスパーク駅、天満橋駅のすべてが私どもの駅でございまして、既存の地下鉄網があり、地上部にはバスや各種のモビリティも、当社で導入可能でございます。基盤整備、都市計画道路等の整備促進をぜひ進めていただき、当社自身が交通ネットワークの形成に十分に貢献できるものと考えています。
- ・ まちづくりの目標の国際化、国際観光の拠点、イノベーションの拠点、国際人材の育成環境整備等について、ご説明の通りインバウンドが大阪城までたくさん来ている状況で、大阪城周辺の比較的グレード感がある新たなインバウンド向けのホテルの整備も進んでいると感じています。資料に、職住遊学という記載がありますが、働く方、住む方、楽しむ方、学ぶ方という観点で、このエリアに定着やサステナビリティという側面で、インバウンドや、国際化の点を検討することが重要だと考えています。ぜひ、誘導する目標や、具体的な年度を数値として定めていただくとよいと思います。
- ・ もう 1 点、イノベーションについてですが、最近トレンド的に各産業で使われてきていると感じています。昨今、企業がオフィスの拡張や立地改善の理由にしているキーワードにもなっております。優秀な人材の確保といった側面もございますけれども、コロナ前にあった働き方改革が進化・発展して、企業においても内外のイノベーション、つまり新たな出会いや発想、価値の創出などをめざしたフィールドを求める声が極めて強くなっていると考えております。先ほどプラットフォームのご説明がございましたが、私どもも森之宮の 1.5 期開発において、公立大学とイノベーションコアの形成、具体化をしていく予定でございます。
- ・ 最後に、大阪城公園周辺地域まちづくりの方針について、大阪府市に強力に推進をしていただくことをお願いしたいと思います。

#### 井上 大阪地下街株式会社 代表取締役社長

- ・ 当エリアでは弊社は京橋駅周辺におきましてコムズガーデンという地下の商業施設を運営しております。1990 年の国際花と緑の博覧会のときに、地下鉄の京橋駅と、上部の大阪市の京橋公園と一体に作った立体的な施設でございます。1990 年の花博から 35 年経ちまして、施設も古くなってきたため、今回の万博の前にリニューアル工事を進めているところでございます。これは上部の京橋公園の再生と一体的に 4 月 18 日にリニューアルオープンする工事が進んでいるところでございます。
- ・ 今日お示しいただきました大阪城公園周辺地域まちづくり方針(案)に則って、これから京橋駅周辺は高度利用も含めて大きくまちが進んでいくと思いますが、それに先行する形で歩行者ネットワークを活かしたウォークブルのまちづくりを京橋公園を拠点

として構成員の皆さま含め、様々な方々と連携して、にぎわいの拠点として進めていきたいと考えております。

**杉町 イオンモール株式会社 開発建設統括部 近畿・北陸開発部長 兼 東海開発部長**

- ・ 重松 執行役員 開発建設統括部長の代理にて参りました杉町と申します。
- ・ 京橋駅周辺においては、1971 年に開業させていただいた元ダイエーの土地におきまして、新たな開発事業の検討を進めさせていただいております。これまで 50 年間近く、地域の皆様や、鉄道沿線の皆様、来訪客、OBP にお勤めの皆様にご愛顧いただいておりますので、生活を支える部分とこれからの新しいイノベーションといった形を実現していくことで、今回の大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）でも記載のある国際的な集客・滞在・商業空間、にぎわいの拠点といったものの一角となれるような施設を計画して参りたい。
- ・ また大阪城京橋プロムナード・パークアベニューに関わる快適な歩行空間、いわゆるウォークابلといったものについても、連携して、開発を進めていきたいと考えております。
- ・ 一方、昨今、民間の開発事業、公共事業も含め、工期やコスト、様々な面で、単独で事業を進めていくというのはなかなか難しいという側面も見えてきている状況でございますので、構成員の皆様も含めまして、ご指導、お力添えをいただきながら、事業を進めて大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）の実現に向け、進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 京橋の中心にいらっしゃいますので、ご活躍を期待しております。

**高原 独立行政法人都市再生機構 理事・西日本支社長**

- ・ 私どもも、まちづくりにこれまで関与して参りましたので、全国で多くのまちづくりに携わった知見を生かして、この地域のまちづくりに貢献するとともに、大阪府市をはじめとする皆様のご期待に応えていきたいと考えております。
- ・ ご説明の森之宮周辺が東西都市軸の新たなヒガシの拠点という形で新たなまちづくりを進めるためには地域資源や地域特性に応じたイノベーションの新たな仕組みの構築というものが重要と考えております。UR といたしましては先ほどの資料の中の多世代居住複合ゾーンに森之宮団地、森之宮第 2 団地、合わせて 2592 戸 6.5 ヘクタールというものがございます。また旧社屋である UR 森之宮ビルには、現在、公立大学に入っておりますが、そういったものを地域資源の 1 つととらえまして、これらストック活用や再生を通じまして、まちづくりがめざすイノベーションフィールドシティーにおける居住のあり方というものについて、お住まいの皆さんや地域の皆様、またお集まりの皆様にご協力賜りながら、取り組んでいきたいと思っております。
- ・ その第一歩といたしまして、スモールスタートですが、UR 森之宮ビルを生かした関係者とのまちづくりイベントや、大阪商工会議所と連携した実証実験といったものを 11

事例ほど、取り組んでおります。

- ・ また、まちづくりコンセプトの実現に向けまして、大阪公立大学の本部機能を 3 階に移すとともに Well-being 共創研究センターといったものを 2 階にお迎えしたところでございます。団地にも、健康医療介護を体験できるモデルルームを設置しております。またオープンイノベーションラウンジ「ほとりで」を森之宮ビルに整備いたしました。団地居住者、学生、まちづくりの関係者が地域の価値を再発見し、環境問題や地域課題を自らの知識や経験で解決できるというような実践の場という形でご活用いただければと思っております。
- ・ 引き続き地域のまちづくり、魅力づくりの向上といったところに取り組むとともに、大阪城公園周辺地域のまちづくりについて皆様と一緒に進めていきたいと思っております。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 森之宮ビルの活用など関係者と協力、連携、感謝申し上げます。

**高梨 一般社団法人大阪ビジネスパーク協議会 運営委員長**

- ・ 田ノ畑 代表理事の代理で出席させていただいております。
- ・ 我々OBP 協議会は地権者企業 14 社のエリアマネジメント団体で地権者企業様の意向を反映する形で活動しております。
- ・ 今回の大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）につきまして、我々のエリアの価値向上、それから交流の促進というところで、非常に意味があると思っておりますので、協力して参りたいと考えております。その中で 3 つほど取り組んでおりますことをご報告させていただきます。
- ・ まず 1 つはまちなかウォークブル推進事業がございます。一昨年に、このエリアとして指定いただき、今年度に補助金を受け、環境整備として植栽などの活動を推進しております。今後、街路灯など、歩行者空間の整備をさらに検討しております。空間整備により、人の憩いの場と、交流促進によるビジネス活動の活性化につなげていきたいと思っております。
- ・ 2 つ目は、エリア内のビジネスワーカーとこちらにお越しになる来街者の方々を対象に SNS の活用により、まち LINE 実証実験という LINE を活用した実証実験を地権者企業の 1 つでございます竹中工務店の取り組みとしまして、京橋・OBP エリアで、今年度実施いたしました。京橋エリア、OBP エリア、それから今後は、9 月以降開設されます公立大学の学生や関係者の方々も含めまして、周辺の商業地域、或いは各種施設・イベントの情報を双方向で情報交換するツールといたしまして、活用していけるように引き続き展開していこうと思っております。
- ・ それから 3 点目に今後の話でございますが、公立大学の柴山様からもご発言ありましたイノベーションアカデミーを生かしたイノベーションプラットフォームにつきまして、OBP 協議会といたしましてもエリアの価値向上をめざして、地権者企業の意向を踏



まえながら協力していければと考えております。OBP 協議会といたしましては公立大学がお考えになっておられます実証実験に対しまして、公共用地や公開空地など、フィールドの提供の窓口をさせていただければと思っております。

- ・ OBP 協議会といたしましては、周辺地区との連携によるエリアの魅力アップ、価値の向上をめざして取り組んで参りたいと思っております。

#### **中橋 国土交通省 近畿地方整備局 建政部長**

- ・ まず、冒頭ご説明いただきましたまちづくりの方針などにつきましては大変期待感がございます。概ね賛同したいと思っております。
- ・ その上で、今、国土交通省都市局では、これまでの都市再生施策を、20 年間ぐらい振り返って、これから今後の都市再生のあり方について、有識者と議論をいただいております。4 月にも中間とりまとめをするというスケジュール感で進めております。そういった中で今後の都市再生のあり方がどう示されるか見てみる必要がありますが、これまでの過程で、大都市の再生についても取り扱われておりまして、その 1 つの意見として、これまでの大都市再生では国際競争力の観点から、ハイグレードなオフィス機能やインバウンドに対応する機能が求められていたのですが、今後、中長期的な視点から、環境への配慮、環境 SDGs や GX といった環境的な配慮、或いは人々のウェルビーイングの向上、そういった新たな価値観が示されておりまして、これはその中間とりまとめでどう記載されるかわかりませんが、大都市の再生に求められるものとして出てくる可能性があると思っております。GX やウェルビーイングの向上、或いは個性の重視などの点では、この大阪城公園には、すでにもう緑地はありますし、強い個性を持ったエリアでもあると思いますので、大阪城公園周辺であるということがすごく有利に働く、非常にポテンシャルがあるということが言えると思います。
- ・ ぜひそういった今後の都市再生のあり方の施策の流れに沿った形で、このエリアの開発を進めていただけたらと思いますし、モデルケースとなることを期待しております。

#### **議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 大阪市では、都市再生特別措置法により、都市再生特別地区を活用したまちづくりと、エリアマネジメント等の手法も活用いただいております。今の大阪は都市再生特別措置法があるからこそだと思っております。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

#### **亀岡 国土交通省 近畿運輸局 総務部 安全防災・危機管理調整官**

- ・ 村上 総務部長の代理で出席しております。
- ・ 11 ページの左中段に記載があります通り、人中心の広場を備えて駅前に交通結節点となる交通広場ができるということでございますが、ウォークブル空間の充実や、歩行者を前提に考えますと駅につくる以上、交通結節点のロータリー等も考えていく上で、例えば、そこに入ってくるバス事業者やタクシー事業者の意見をしっかり聞いていただきたいと思っております。
- ・ 2 点目ですが、14 ページの中央のところに記載がありますバリアフリー化された歩行

者空間のネットワーク化をめざすとあります。これについては交通施設のバリアフリーですので、各事業者がそれぞれ実施すると思っておりますが、まち全体としてバリアフリーは自治体が基本的には行うということになろうと思っておりますので、引き続き、気を配っていただきたいと思いますと思っております。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 引き続きバリアフリーの推進に向けて、関係者と取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。

**真田 内閣府 地方推進事務局 参事官**

- ・ 私の方からは2点ほど、お話をさせていただければと思います。
- ・ 1点目は、民間側の事業主体となった事業の具体化をこれから進めていって欲しいという点でございます。資料2-4の今後の進め方のところでも、民間都市開発の検討と書かれているので、大阪府市も認識をしていただいていることだと理解しております。ただ改めて、お願いをしたいと思って発言させていただきます。今日とりまとめたいただいた大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）の中には、その目標として国際観光拠点の強化や、イノベーション拠点の形成など、3つほど書かれており、また、土地利用の方針も示されておりました。ただ一方で、気になったのは、その方針や土地利用の方針を具現化していく、具体的な民間が事業主体となった事業については、まだ、コンセプトや目標、土地利用の方針が示されただけで、それを具体化していくための、民間事業についての記述がございません。ただ、これはまちづくりの方針なので、そうかなというふうに思ってもおります。
- ・ そういった意味で今後、この目標や土地利用の方針を実現していくための、民間が事業主体となった事業を、具体的にタマを出して欲しいと思っております。今後、特定都市再生緊急整備地域の指定をめざしていくということでございますが、指定に当たりましては、国際競争力に資する具体の都市開発プロジェクトの見込みがあるということ、これが、指定にあたって私どもの方から指定をめざす自治体の皆様に求めていることでございます。こういったことから、民間のプロジェクトの具体化を進めていただきたいというふうに考えております。
- ・ もう1点。これは今回の大阪城公園ではなく、市全体を見た話になります。大阪市内にはすでに特定緊急整備地域としまして、湾岸の大阪コスモスクエア駅周辺地域、それと、大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域。この2つの地域がすでに特定緊急整備地域として指定をされております。そういった中で、今回の議論の対象になっている大阪城公園周辺地域についても、その特定をめざしていくことになると、大阪城公園周辺地域と同じように国際競争力を高めていくということで打ち出している2つの地域との間で、どのような連携していくのか、分担していくのか、それから棲み分けをしていくのかというところを明確にして欲しいと思っております。
- ・ そしてもう1つは、既存の2つの地域において、特定都市再生緊急整備地域を指定し

たことで、順調に国際競争力の強化に資する高機能が集積しているというところを示して欲しいと思っております。特に私が心配しているのは、大阪コスモスクエア駅周辺地域であり、こちらが特定を指定しているにもかかわらず、それほど国際競争力の強化に資する集積がないなというようなことになりますと、なぜ追加で、大阪城公園周辺地域も特定に指定していくのかという議論になりかねません。

- ・ そういったことから、すでに指定されているところについて、制度を活かしていただいでしっかり国際競争力に資する機能の強化の集積も進んでいるというような状況をつくっておいて欲しいなというふうに思っております。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ ご指摘ありましたようにこれからの特定都市再生緊急整備地域の指定に向けて、具体の民間プロジェクトを進めていきたいと思えます。また特定都市再生緊急整備地域の指定に向けまして既存の指定地域との役割分担、連携などについて整理させていただき、改めてご説明させていただきます。

**森岡 大阪府副知事**

- ・ 本会議の対象であります大阪城公園周辺地域は大阪のまちづくりグランドデザインにおきまして、世界で存在感を発揮する拠点エリアとして位置付けておりまして、東西都市軸のヒガシの拠点形成に向けまして、また万博以降のまちづくりとして非常に重要な地域だというふうに考えております。
- ・ そのうち、森之宮周辺地域におきましては、大阪城東部地区のまちづくりの方向性に基づきまして、大学を先導役としましたまちづくりを進められておりまして、大規模集客交流施設、それから 1.5 キャンパスの開発事業者の公募が開始されまして、J R大阪城公園駅から新キャンパスに至ります歩行者動線の具体化もおかげさまで進めていただいております。1.5 期開発のまちびらきに向けまして着実に取り組みが進んでいると考えております。
- ・ 大阪城公園という国際的に魅力的な観光拠点を中心として近接します 3 エリアである京橋駅周辺、大阪ビジネスパーク駅周辺、そして森之宮周辺のエリアの特徴を活かしまして、相乗効果を発揮していくことが非常に重要で、本日とりまとめる大阪城公園周辺地域まちづくり方針（案）に基づきまして、国際競争力の強化に向け、協議会会議の構成員の皆様が連携した取り組みというものが一体となって進めていければと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ ほかにご意見ございますでしょうか。

**会場**

- ・ （意見なし）

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ 本日は皆様からご意見といたしましては、本日、事務局の方からお示した大阪城公園

周辺地域まちづくり方針（案）に沿って進めていくというものでした。それでは本方針（案）に沿ってまちづくりを進めさせていただいてもよろしゅうございますでしょうか。

**会場**

- ・ 異議なし

**議長：高橋 大阪市副市長**

- ・ それでは本方針（案）で進めていくようにいたします。
- ・ それでは本日の議事すべて終了いたしましたので、事務局にお返しいたします。

**事務局：泉 大阪市計画調整局開発調整部地域開発担当課長**

- ・ 高橋副市長ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了といたし、皆様、本日は誠にありがとうございました。